令和　8年9月12日

地域密着型サービス　運営推進会議　報告書

事業所名・・・医療法人　仁風会　雲陽の里

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所

会議開催日・・・令和　8年9月8日

開催場所・・・雲陽の里

出席者

事業所	1　人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	3　人
松江市職員	1　人	包括支援センター	人
知見を有する者		その他（　　）	人

活動状況報告

1）入所状況について

・6月に入所された方が8月末で退所となっている。帯状疱疹と食事量の低下で入院されたが食事量が回復されなかった。次の入所候補を選定中。

2）生活状況・活動報告

◎7月防災法人研修「災害初声時の初動対応」職員参加

◎8月法人研修「虐待防止」全職員参加

◎8月法人研修「医療機器の基礎知識」感染観察期間のため不参加

3）・インシデント及び事故報告（7件）内容と対策について報告。

処方薬の確認漏れや薬に落下が今回もあり注意の徹底について再確認をしている。

施設外に出られた事に気が付くのが遅れた事故については、2名の職員が2か所のセンサーチャイムが鳴った事に気が付かなかった事になるので、赤ランプが点滅するセンサーを追加し音だけでなく視覚でも認識できるよう改善している。

4）・身体拘束及び虐待に関する報告はない。

意見交換

地）敬老会の計画はあるか？

事）9月中旬に予定をしている。準備の小道具をレクの時間に作っているようだ。まだ外部ゲストが施設内に入れない事が残念。他の施設で受け入れを再開している所があるのか？

市）習字や生け花の先生、ギターで昔の歌を歌ってもらう等の話を聞いている。

事）法人の感染対策は厳しく、緩める事が難しいためもどかしさはある。

地）要介護1～3という事は食事介助が必要な人はいないのか？

事）一般的には食事をこぼしながらでも食べる事はできると思うが、高次脳機能障害の方については途中で箸を置いてしまうので介助が必要になる、集中が短時間しか続かない。

地）食事が出されている事が理解できないか、食べる事がわからないか繋がらないという事だと思う。

地）喧嘩になる事はないのか？

事）口論は日常的にある。言い方の問題もあるが特に男性は気に障ると「言わんとわからん！」とムキになる場面もあり様子をみて介入している。

地）虐待はないのか？

事）明かな虐待は無い。ただ言葉使いとして「いい子にしていて」といった子ども扱いするような言い方を聞く事があるので気をつけるように話している。また、なかなか応じてもらえない時に頑張りすぎてムキになりそうな時があるので、職員を交代して対応するよう気をつけている。イライラしそうな時もとにかく詰所まで帰って来てから話すようにしている。若い職員はセクハラ発言を受ける事もある。ベテランは気にならなくてもハラスメントは受け手がどう感じるかはので嫌だと感じるようであれば2名で対応するようにしている。

市）各ハラスメントについては対応を策定するよう義務付けられている。来年度から追加になる項目もあり事業所は対応が必要。

※事業所確認欄

□活動報告についての評価をうけることができたか	
□要望・助言等を受ける機会を設けたか	